

総務省における検討状況

総務省 総合通信基盤局
電気通信技術システム課

▶ IP 端末の相互接続性検証

○ 次世代IPネットワーク国際競争力強化基本戦略及びアクションプラン07

- ・ (3) 研究開発の推進
- ・ ICT 国際競争力強化重点技術戦略の推進
- ・ 次世代IPネットワークの基盤技術の研究開発や相互接続性の検証等については、その取組を他国に先駆けて実施し、市場を意識しつつ国際標準化活動を戦略的に行っていくこととする。そのため、産学官連携による「次世代IP ネットワーク推進フォーラム」を積極的に活用するとともに、テストベッドの構築による相互接続性の検証等を実施し、研究開発・国際標準化活動を効率化・加速化していく。

○ モバイルビジネス活性化プラン

- ・ (3) モバイルビジネスの活性化に向けた市場環境整備の推進
- ・ (b) 端末プラットフォームの共通化の促進
- ・ 携帯端末を含む多様な通信端末の相互接続検証のためのテストベッドを整備するため、「次世代IPネットワーク推進フォーラム」において当該テストベッドが具備すべき要件等について検討を行い、2008年夏を目途に結論を得る。

▶ IDポータビリティ

○ モバイルビジネス活性化プラン(2007/09)

- ・ (3) モバイルビジネスの活性化に向けた市場環境整備の推進
- ・ (a) プラットフォームの連携強化に向けた検討
- ・ IDポータビリティ技術に関する研究開発・標準化等については、「新世代ネットワーク基盤技術に関する研究開発」(2008年度予算要求)の一環として推進する。

○ 通信プラットフォーム研究会

▶ 責任分担モデル

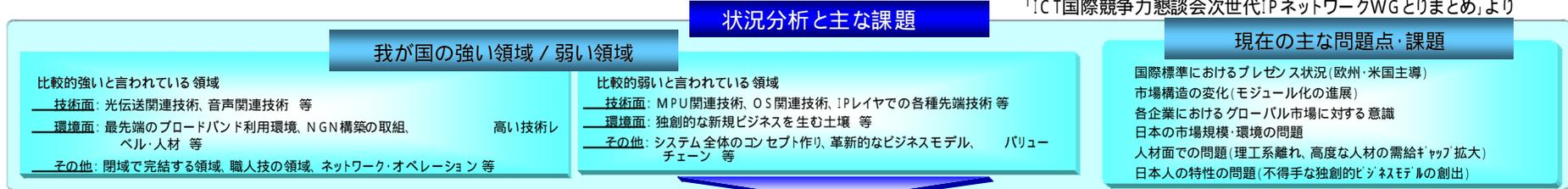
○ 新競争促進プログラム2010 改定版

- ・ (8) ネットワークの中立性の確保に向けた環境整備
- ・ (b) ネットワークの中立性と競争モデルの在り方に関する検討
- ・ 従来と異なる収益モデルを有するビジネスモデルの登場、インターネットのボーダーレス化が競争環境に及ぼす影響、これに関連するインターネットガバナンスの在り方、IPv4からIPv6への移行に伴う市場環境整備の在り方、地方におけるISPやCATV事業者等のビジネス展開の方向性など、ネットワーク構造や市場環境が大きく変わる中において、ネットワークの中立性と競争モデルの在り方に関連する広範にわたる中期的な政策課題を抽出・整理することを目的として、07年度中に新たな検討の場を設置し、08年中を目途に一定の結論を得る。

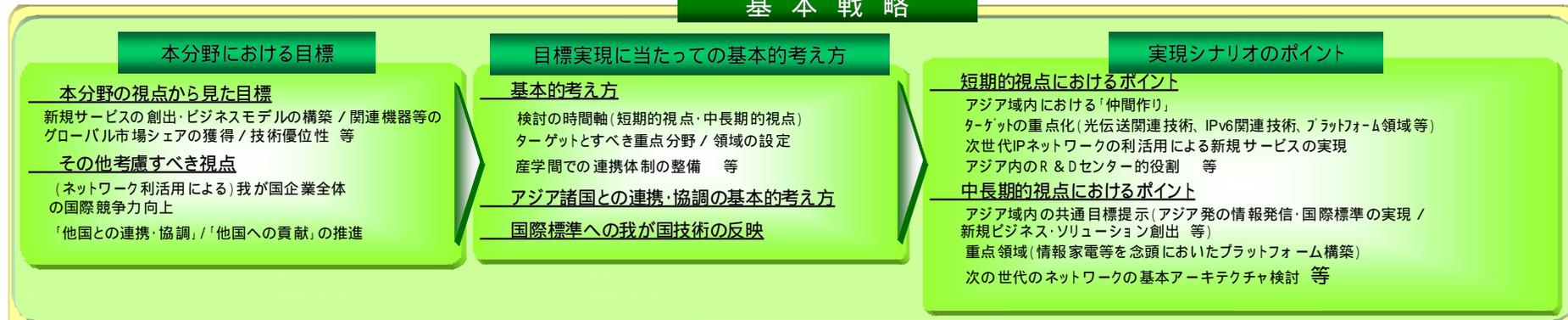
○ インターネット政策懇談会

次世代IPネットワーク国際競争力強化基本戦略(概要)

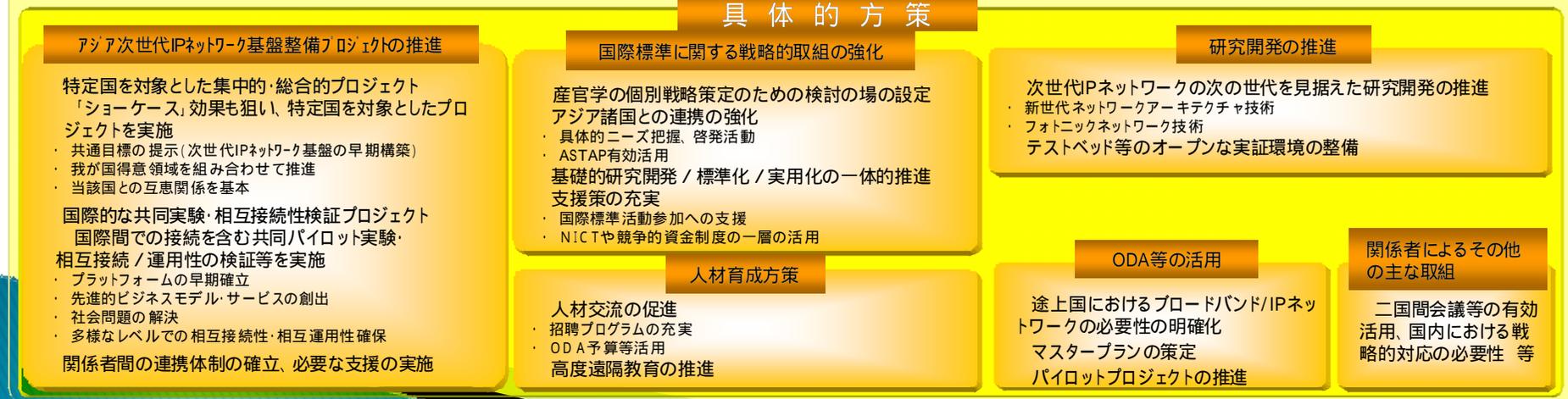
「ICT国際競争力懇談会次世代IPネットワークWGとりまとめ」より



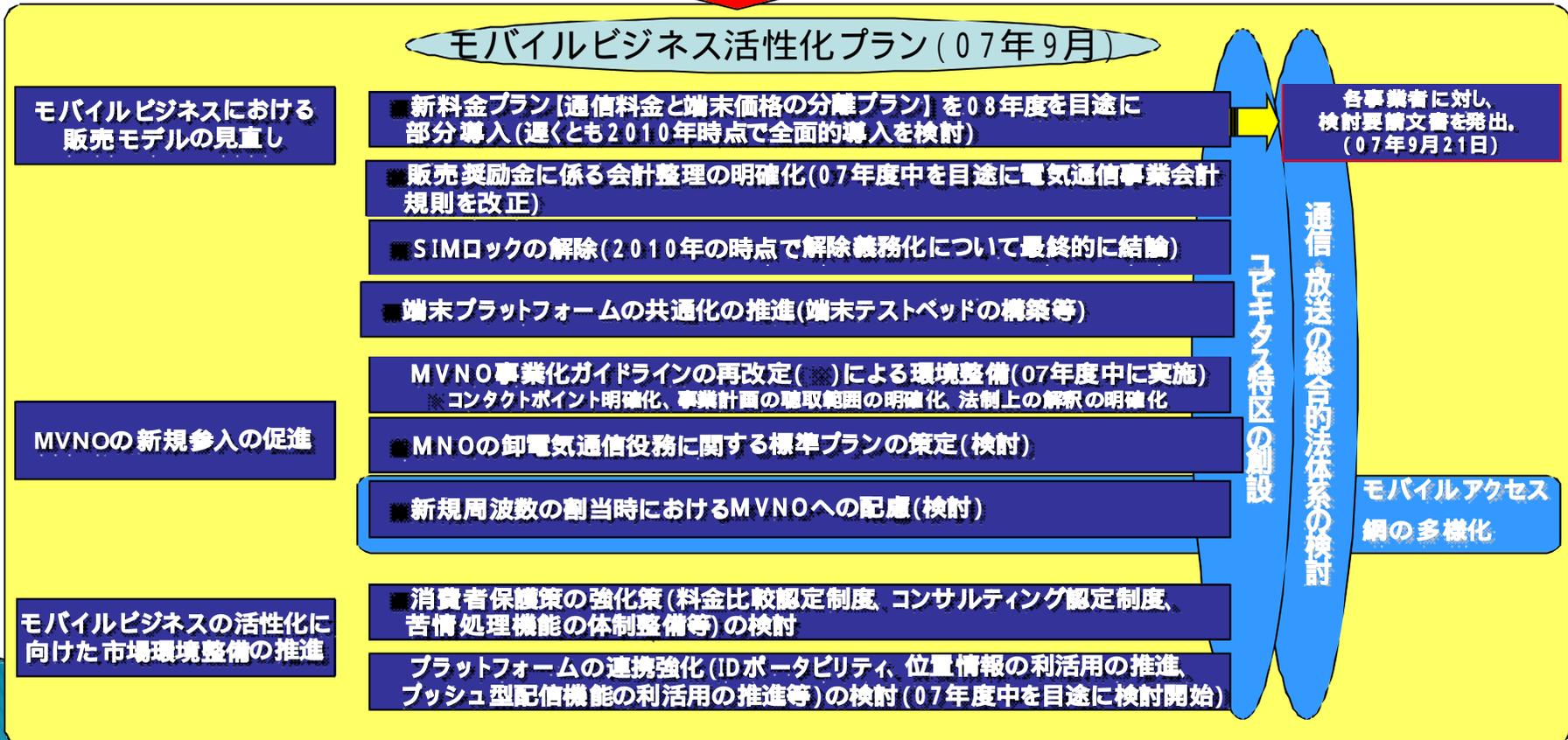
基本戦略



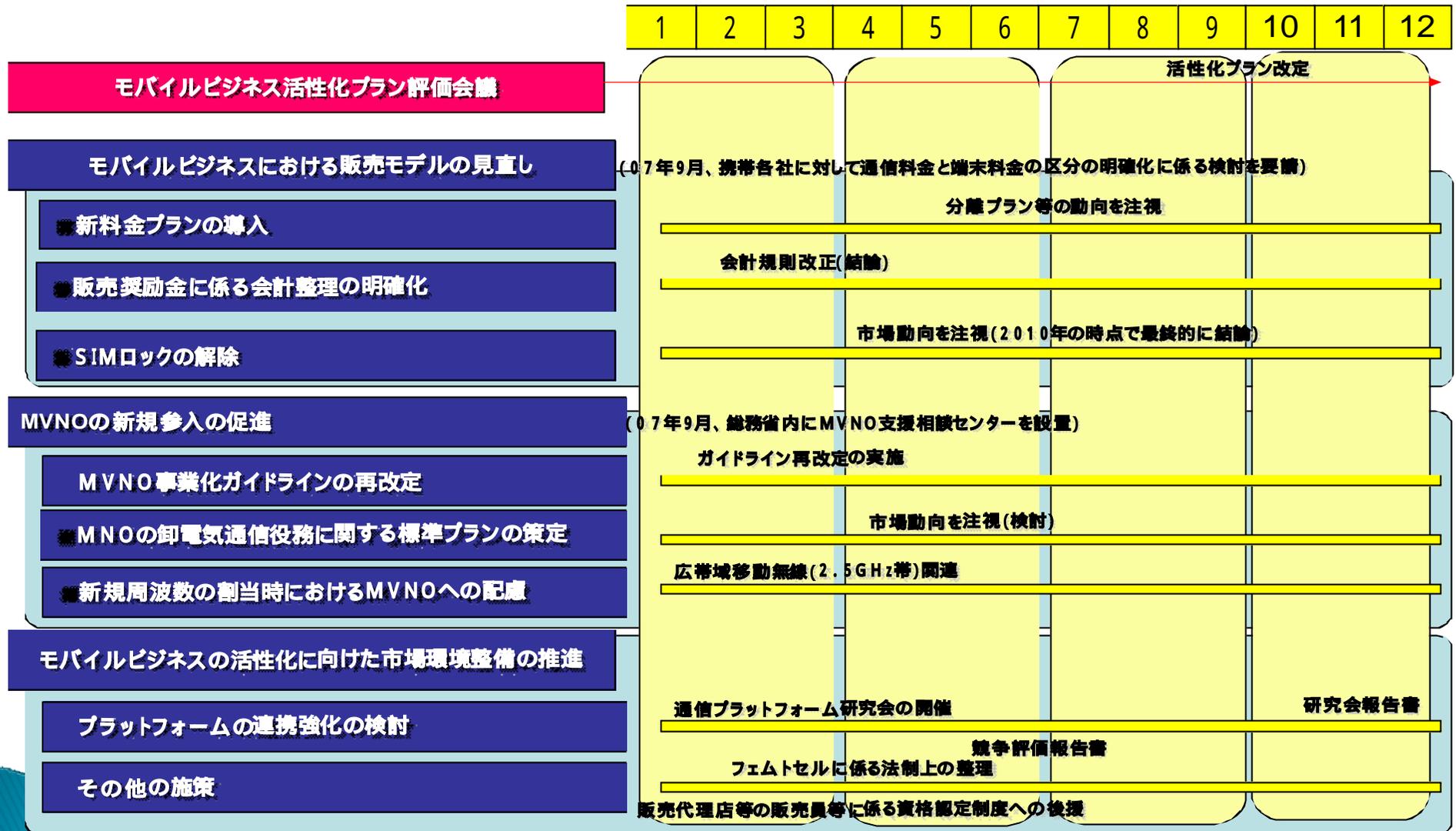
具体的方策



モバイルビジネス活性化プラン(概要)



モバイルビジネス活性化プラン評価会検討スケジュール

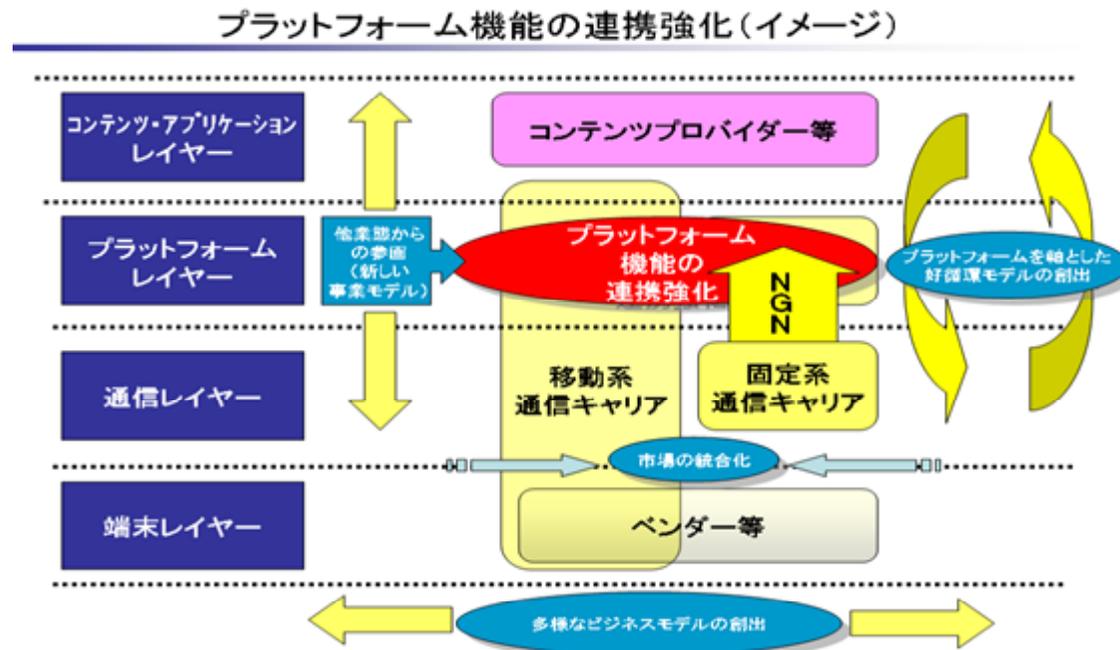


(注) モバイルビジネス活性化プランの中で主要な施策を抜粋したもの。

通信プラットフォーム研究会

開催目的

ブロードバンド化やIP化の進展に伴い、**コンテンツ・アプリケーションをブロードバンド網で円滑に流通させる上で必要不可欠な認証・課金等のプラットフォーム機能の連携強化を図り、新事業の創出を促進するための市場環境整備のための課題整理と今後の政策の方向性を検討**することを目的として開催する。



新競争促進プログラム2010(07年10月改定)

固定通信・移動通信の別を問わず、認証・課金、QoS制御、デジタル著作権管理等のプラットフォーム機能の連携を図り、新事業の創出を促進する観点から、ユーザーID等を含むプラットフォーム機能の利活用等について、**07年度中に新たな検討の場を設置し、08年中を目途に取りまとめ**を行なう。その際、携帯端末のAPI(Application Programming Interface)のオープン性の確保の在り方についても併せて検討する。

通信プラットフォーム研究会検討アジェンダ

1. プラットフォーム機能の範囲

プラットフォーム機能に関する議論の対象範囲について、共通のコンセンサスを形成。

- 検証対象とするプラットフォーム機能の範囲等
- プラットフォーム機能の提供や利活用の主体と分析対象
- プラットフォーム機能の連携に期待される効果
- プラットフォーム機能に係る市場画定等
- 本研究会における検討の射程

2. プラットフォーム機能の在り方に関する評価の視点

プラットフォーム機能の在り方を評価する際の基本的な視点(考え方)を整理。

- プラットフォーム機能にかかる経済的側面
- プラットフォーム機能に係る技術的側面
- プラットフォーム機能の利活用とネットワークの中立性との関係

3. プラットフォーム機能の連携が市場競争に与える影響

市場構造の変化に対応したプラットフォーム機能の連携の方向性について整理。

- 市場支配力の有無とプラットフォーム機能の在り方
- 市場の統合化がプラットフォーム機能に与える影響

4. プラットフォーム機能の連携強化に向けた施策展開の在り方

上記1～3を踏まえ、今後の施策展開の在り方について検討。

(注) 本研究会の開催に先立ち実施した「プラットフォーム機能に係る提案募集」(07年10～11月)の結果を踏まえて作成(主な意見は添付参考資料のとおり)。

インターネット政策懇談会

開催目的

インターネットは社会経済活動に不可欠な基盤インフラとして位置付けられるようになってきているが、ネットワーク構造や市場環境が大きく変化中、利用者はもとより、通信事業者、ベンダー、ISP、コンテンツ・アプリケーション事業者など、**多様なステークホルダの多角的な観点から、ネットワークの中立性を確保し、インターネットの健全な発展を図るための政策課題を抽出・整理し、今後の政策の方向性を整理することを目的**として、本懇談会を開催する。



新競争促進プログラム2010(07年10月改定)

➤ ネットワークの中立性の確保に向けた環境整備

IP化が進展する中、ネットワークの利用の公平性(通信レイヤーの他のレイヤーに対する中立性)やネットワークのコスト負担の公平性(通信網増強のためのコストシェアリングモデルの中立性)といった、いわゆるネットワークの中立性の在り方について検討を行なう。

このため、「ネットワークの中立性に関する懇談会」報告書(07年9月)を踏まえ、ネットワークの中立性を巡る諸課題について、引き続き、以下の検討を行なう。

(b) ネットワークの中立性と競争モデルの在り方に関する検討

従来と異なる収益モデルを有するビジネスモデルの登場、インターネットのボーダーレス化が競争環境に及ぼす影響、これに関連するインターネットガバナンスの在り方、IPv4からIPv6への移行に伴う市場環境整備の在り方、地方におけるISPやCATV事業者等のビジネス展開の方向性など、**ネットワーク構造や市場環境が大きく変わる中において、ネットワークの中立性と競争モデルの在り方に関連する広範にわたる中期的な政策課題を抽出・整理することを目的として、07年度中に新たな検討の場を設置し、08年中を目途に一定の結論を得る。**(以下略)

インターネット政策懇談会における主要検討項目

